

丹 邨 学 舎



「志をもち 自ら学び 共に高め合い たくましく生きぬく 西溪っ子」の育成

第10号 R6. 1. 15発行 文責 大島和子

3学期が始まり、早1週間が経ちました。子どもたちは、始業式の日から元気よく登校しています。

令和6年の始まりは、能登半島地震が起き、多くの尊い人命が失われたり、不自由な避難所での生活を余儀なくされたりしています。学校再開のめどが立たない地域もあるとの報道もあります。冬休み中に事故もなく無事に3学期を迎えられたこと、子どもたちが楽しそうに冬休みの出来事を話している様子など日常生活を送ることができていることに改めて感謝するとともに、被災地での1日も早い復興を願わずにはられない始業式の日でした。

そのような中、避難所の子どもたちが「避難所新聞」を作成したり、救援物資の補充をしたりと自分たちができることを率先して行っているという報道がありました。自分ができることを考えて、判断し、実践できることはこれから生き抜いていく子どもたちにとって必要なことであり、とても素晴らしいことだと思いました。

さて、3学期は、1年のまとめの学期。そして次への準備の学期です。始業式でも「授業日数は1～8年生は51日、9年生にとってはわずか42日です。今の仲間と過ごす大切な一日一日になります。日々、悔いのないように過ごしていってほしい」という話をしました。次のステップへ向けて、考え、判断し、実践していってほしいと思います。



<玄関に飾られた季節の飾り>

大谷選手寄贈のグローブ届く



既に多くの報道があっていますが、本校にも大谷選手寄贈のグローブが届きました。始業式の際に紹介したところ、早速目を輝かせてグローブを手を取っている子どもたちがたくさんいました。

大谷翔平選手は、高校一年生の時に「目標達成シート」を作成し、1つの目標を達成するために何が必要かをすごく細かく、具体的に考えられたそうです。そうすることで、最初の目標はとてつも



<始業式（リモート）の中で紹介している様子>

なく大きく遠くにあったのに、細かく分析することで1つ1つ今日にもできる目標に変わっていきます。

西溪校の子どもたちにも、目標（志）をもち、その目標（志）を達成するために何が必要かを具体的に考えていってほしいと思っています。

その一つの取組として、4年生の「2分の1成人式」・7年生の「立志式」を今月30日（火）に行います。これは、低学年ブロック・中学年ブロックの区切りの式でもあります。保護者の皆様にもご出席いただき、子どもたちの目標（志）を応援していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

グローブに添えられた手紙です（抜粋）

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

野球しようぜ

大谷翔平

なお、寄贈されたグローブは、しばらく職員室前に展示し、後期課程の生徒も手に取ることができるようにしています。その後、児童が使用方法を決めるように計画しています。

西溪会 役員決まる

令和6年の西溪会役員が下記のとおり決まりました。会長を中心に、それぞれの委員会で“学年の壁を越え、みんなの絆を深める”取組を進めてほしいと思ひます。

執行部	会長	K・S さん（8年）	副会長	K・R さん（8年）
	議長	S・K さん（8年）	庶務	F・S さん（7年）
生活図書	委員長	K・S さん（8年）	副委員長	N・H さん（7年）
文化整美	委員長	M・R さん（8年）	副委員長	S・H さん（7年）
放送体育	委員長	M・S さん（8年）	副委員長	M・M さん（7年）
給食保健	委員長	M・Y さん（8年）	副委員長	T・S さん（7年）

お知らせ

司書の渡辺先生が産休・育休に入られたため、3学期より平城（ひらき）先生が来られています。渡辺先生同様、よろしくお願ひします。